

岩木川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ（案）】

～弘前・五所川原都市圏を守る流域が一体となった治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、岩木川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和52年8月洪水（低気圧）と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



■河川における対策

対策内容 河道掘削、堤防整備 等

■流域における対策

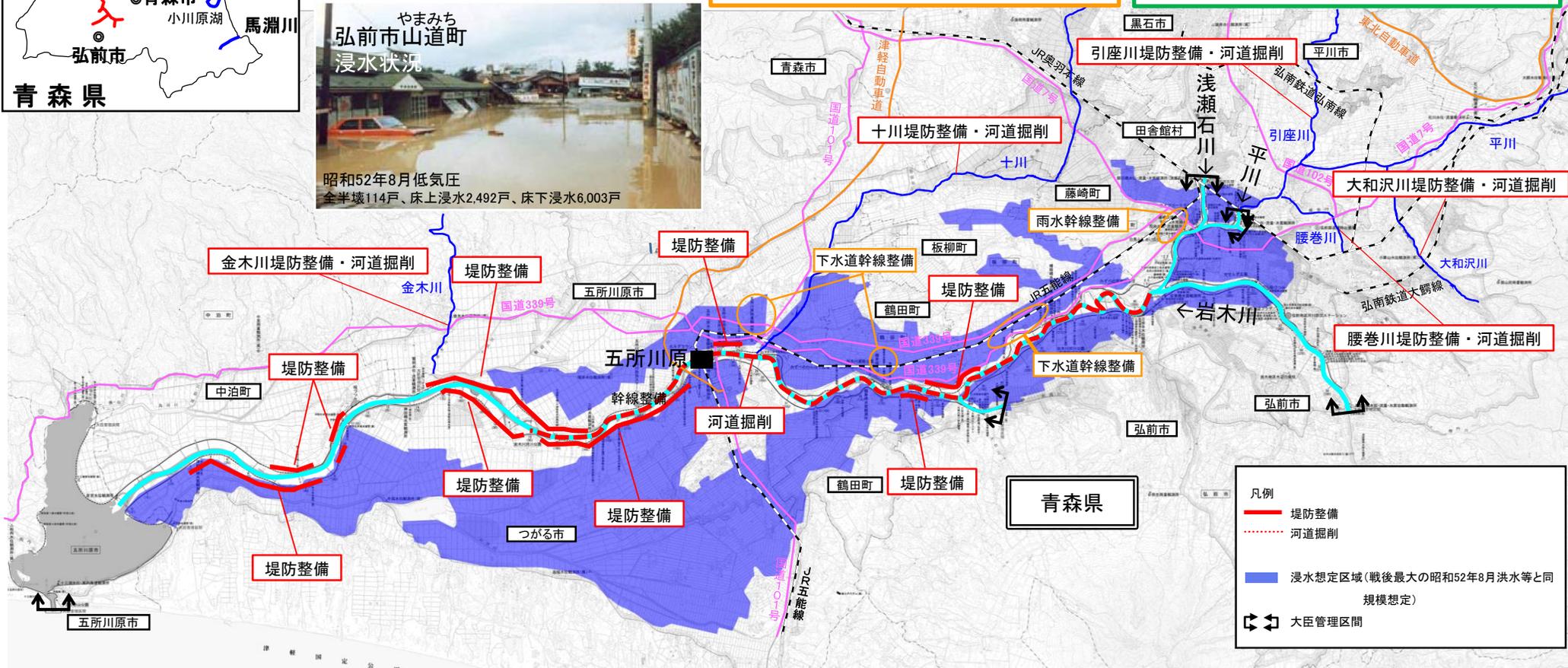
- ・災害拠点病院等の耐水化等の取組
- ・防災拠点等の整備
- ・下水道等の排水施設整備
- ・利水ダム等12ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、青森県、東北電力(株)など）
- ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）等

※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト施策

- ・メディアと連携による洪水情報の提供
- ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
- ・ダム操作状況の情報発信
- ・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・広域避難体制の構築等

※今後、関係機関と連携し対策検討



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。